

金融で未来を拓く

F P G Financial
Partners
Group

2023年9月期 第1四半期 連結決算説明資料 (2022年10月～2022年12月)



株式会社 F P G
(証券コード：7148)

- 2022年12月に新たな企業理念を制定

金融で未来を拓く

私たちは、常にお客さまと伴走し、
金融で未来を拓く、
ファイナンシャルパートナーを目指します。

- 四半期ベースで過去最高益を記録し、通期業績予想の達成に向けて好発進

第1四半期
業績

- **リースファンド事業が対前年同期比で倍増となる大幅な増収増益**
 - ✓ 潤沢な期初在庫を背景に、積極的に出資金を販売した結果、第1四半期としては過去最高となる出資金販売額を達成
- **不動産ファンド事業は、海外不動産が通期予想に対し好調に進捗し、増益**

第1四半期の
トピックス

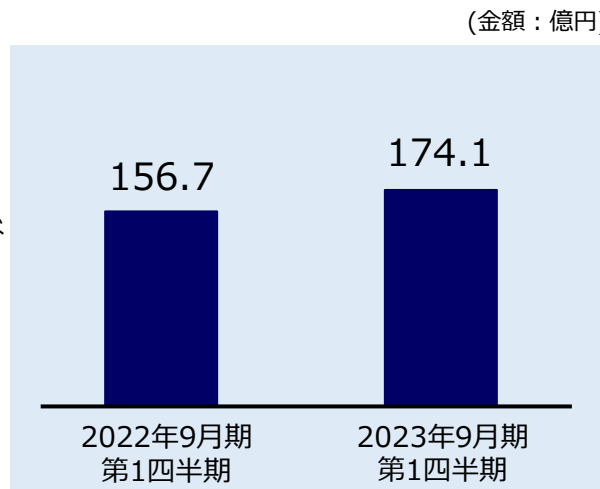
- **2022年12月に新たな企業理念「金融で未来を拓く」を制定**
- **リースファンド事業において、累計組成額が3兆円、累計販売額が1兆円を突破**
- **不動産ファンド事業における累計組成額も2,000億円を突破**
 - ✓ 国内不動産：過去最大の大規模案件となる「F P Gリンクス渋谷道玄坂」を2022年10月に組成
 - ✓ 海外不動産：2022年12月に米国ハワイ州ホノルル市の大規模リゾートホテル「クイーン カピオラニ ホテル」を組成

■ リースファンド事業と不動産ファンド事業がけん引し、利益は対前年同期比で倍増

売上高

約 **1.1倍**

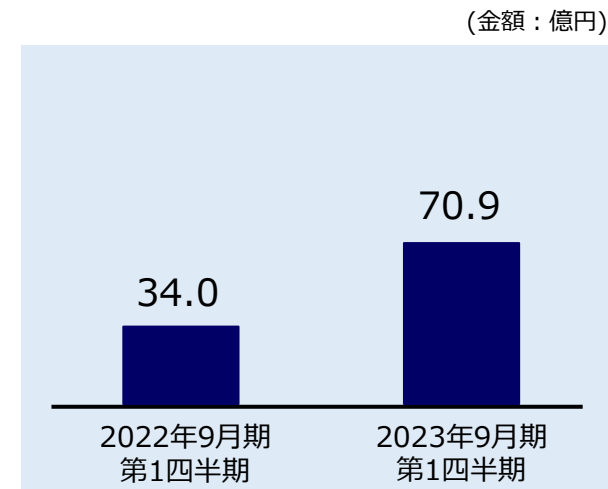
- ✓ リースファンド事業と不動産ファンド事業がけん引



営業利益

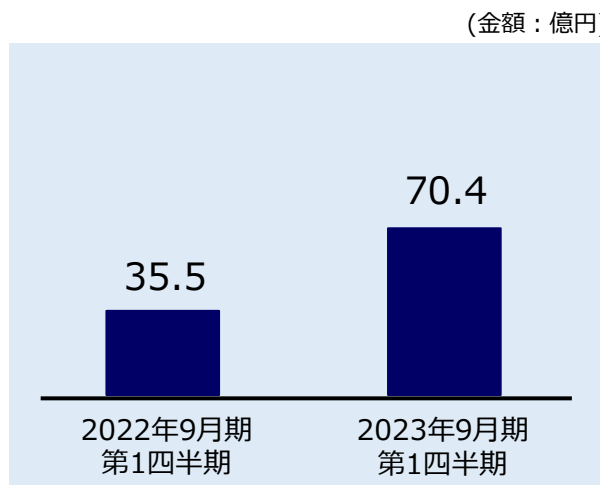
約 **2.1倍**

- ✓ 増収に加え、販売費・一般管理費の適切なコントロールもあり、大幅増益



経常利益

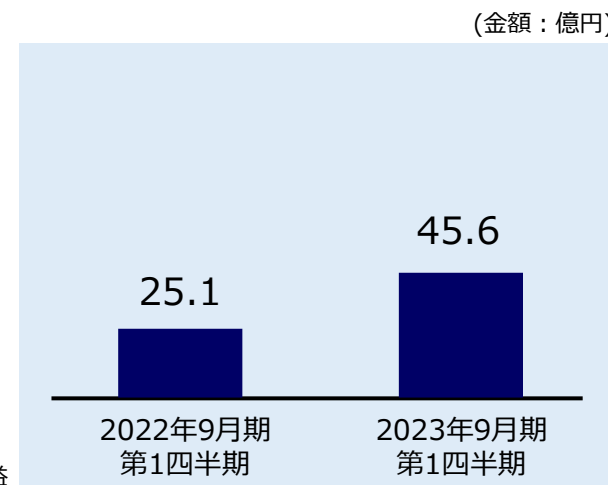
約 **2.0倍**



純利益※

約 **1.8倍**

※親会社株主に帰属する四半期純利益



- リースファンド事業は、潤沢な期初在庫を背景に、積極的に出資金を販売した結果、大幅に増収増益
- 不動産ファンド事業は、海外不動産が通期予想に対し好調に進捗し、増益

(金額：億円)

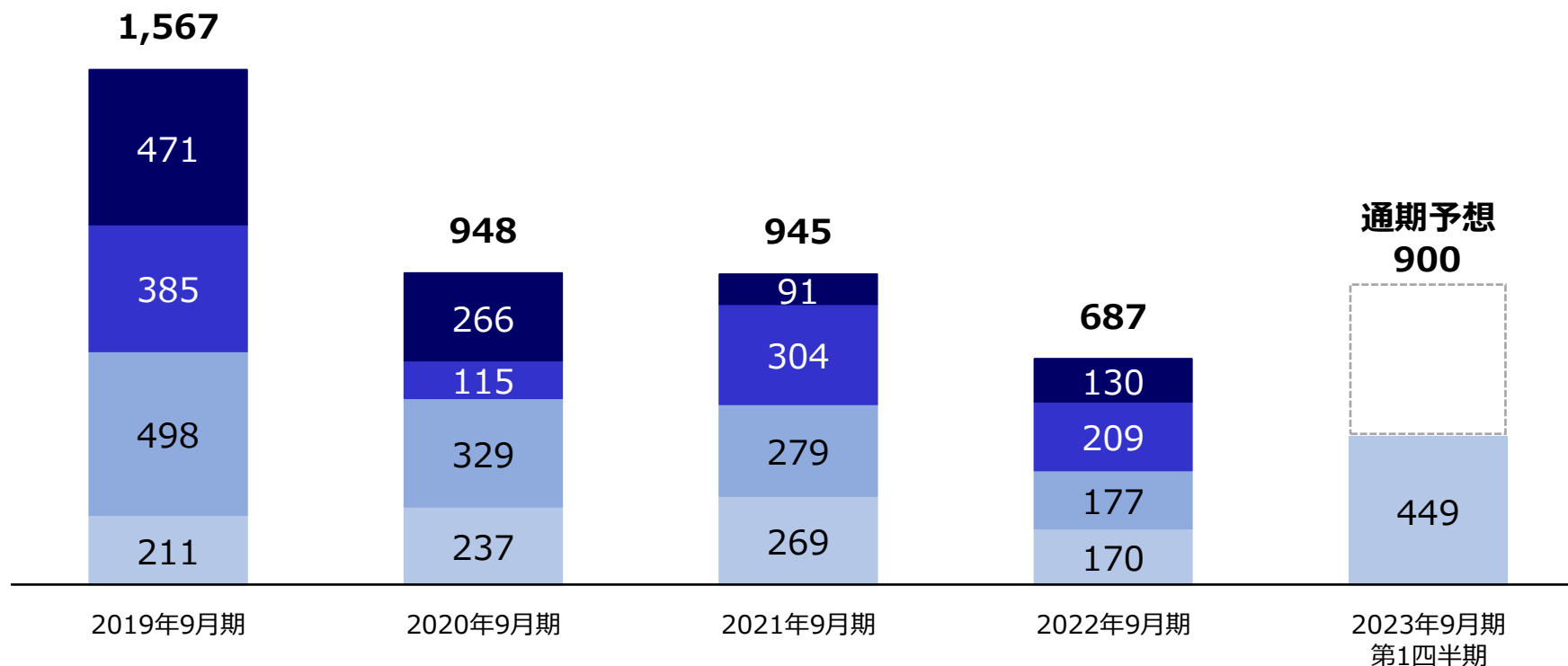
	第1四半期			2023年9月期 (通期)	
	2022年9月期	2023年9月期	対前年同期比	通期予想	進捗率
売上高	156.7	174.1	+11.1%	645.0	27.0%
リースファンド事業	40.0	78.5	+96.4%	165.0	47.6%
不動産ファンド事業	113.7	93.1	▲18.1%	470.0	19.8%
国内不動産	113.7	86.3	▲24.1%	452.0	19.1%
海外不動産	-	6.7	-	18.0	37.8%
その他事業	2.9	2.4	▲16.6%	10.0	24.3%
売上総利益	50.7	92.2	+81.8%	-	-
リースファンド事業	37.7	72.8	+93.1%	-	-
不動産ファンド事業	11.5	18.2	+57.4%	-	-
国内不動産	11.5	12.2	+6.3%	-	-
海外不動産	-	5.9	-	-	-
その他事業	1.4	1.2	▲16.9%	-	-
営業利益	34.0	70.9	+108.3%	136.0	52.2%
経常利益	35.5	70.4	+98.1%	138.0	51.1%
売上高経常利益率	22.7%	40.5%	+17.8%	21.4%	-
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益	25.1	45.6	+81.0%	95.0	48.0%
売上高当期 (四半期) 利益率	16.1%	26.2%	+10.1%	14.7%	-
1株当たり配当金 (円)	-	-	-	56.0	-

- 潤沢な期初在庫を背景に、積極的に出資金を販売した結果、第1四半期としては過去最高となる出資金販売額を達成

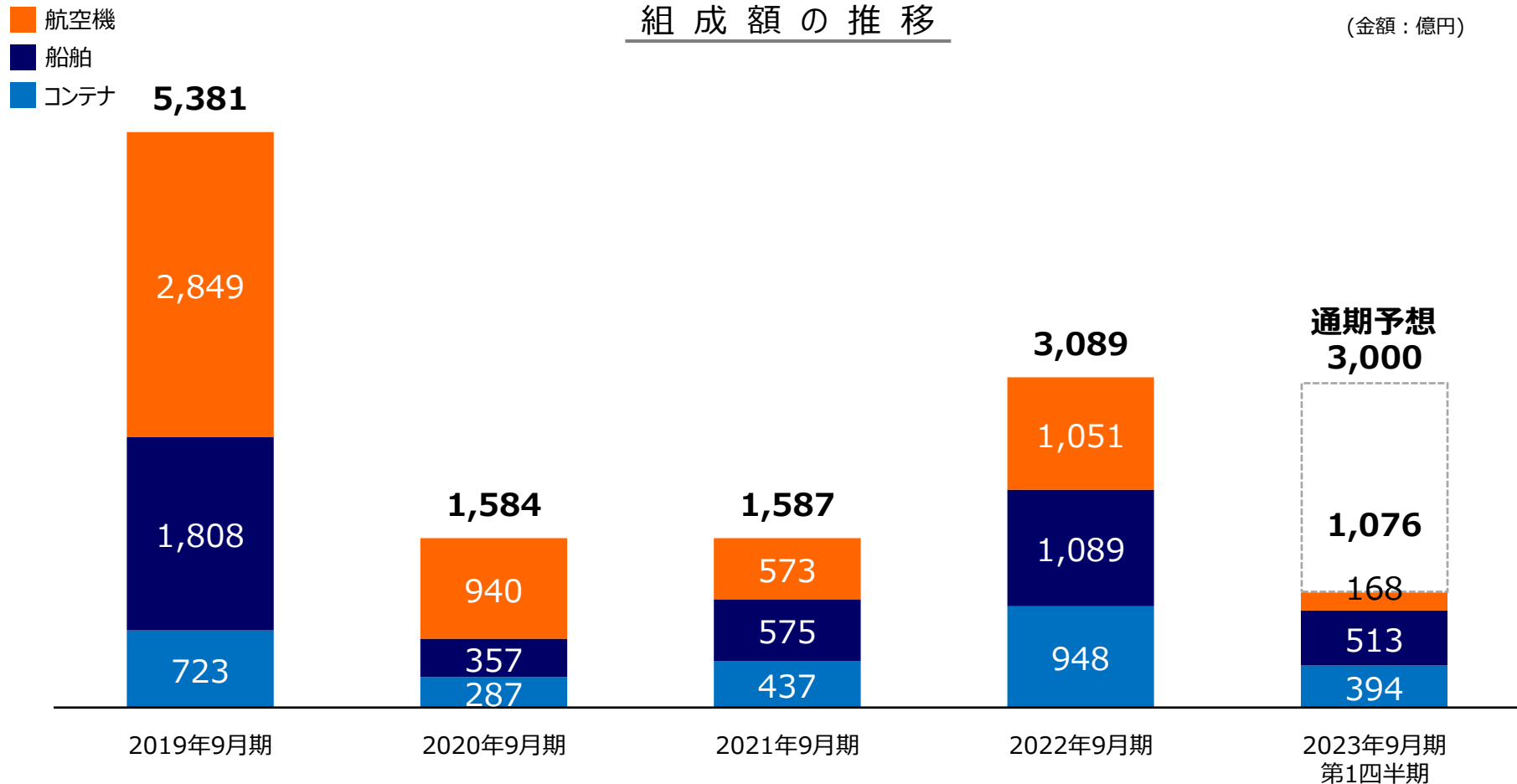
販売額の推移

(金額：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



- 通期予想3,000億円達成に向けて順調に進捗。業績好調な海運業界を主体に組成し、航空機は厳選して組成を行う方針を継続

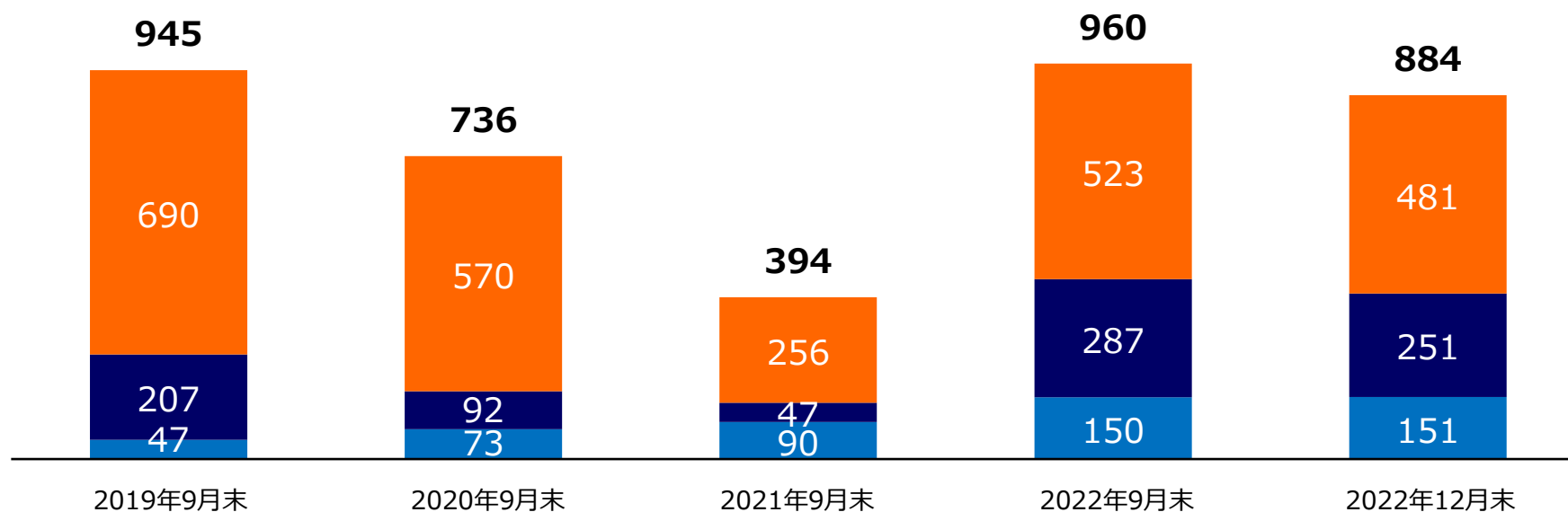


- 航空機案件と海運案件のバランスを維持しつつ、潤沢な在庫を確保

■ 航空機
■ 船舶
■ コンテナ

在庫の推移

(金額：億円)

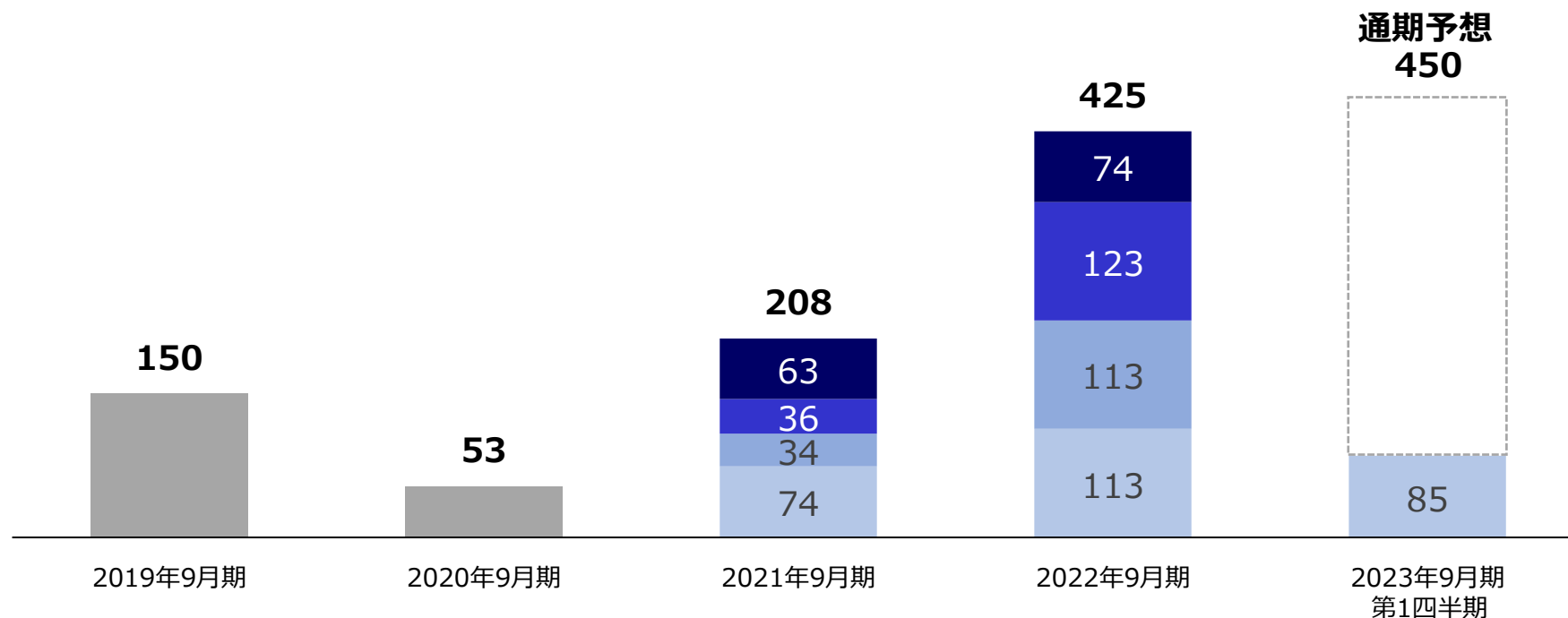


- 2022年10月に組成した過去最大の大規模案件となる「FPGリンクス渋谷道玄坂」を中心に販売を加速し、通期予想販売額の達成を目指す

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

販売額の推移

(金額：億円)

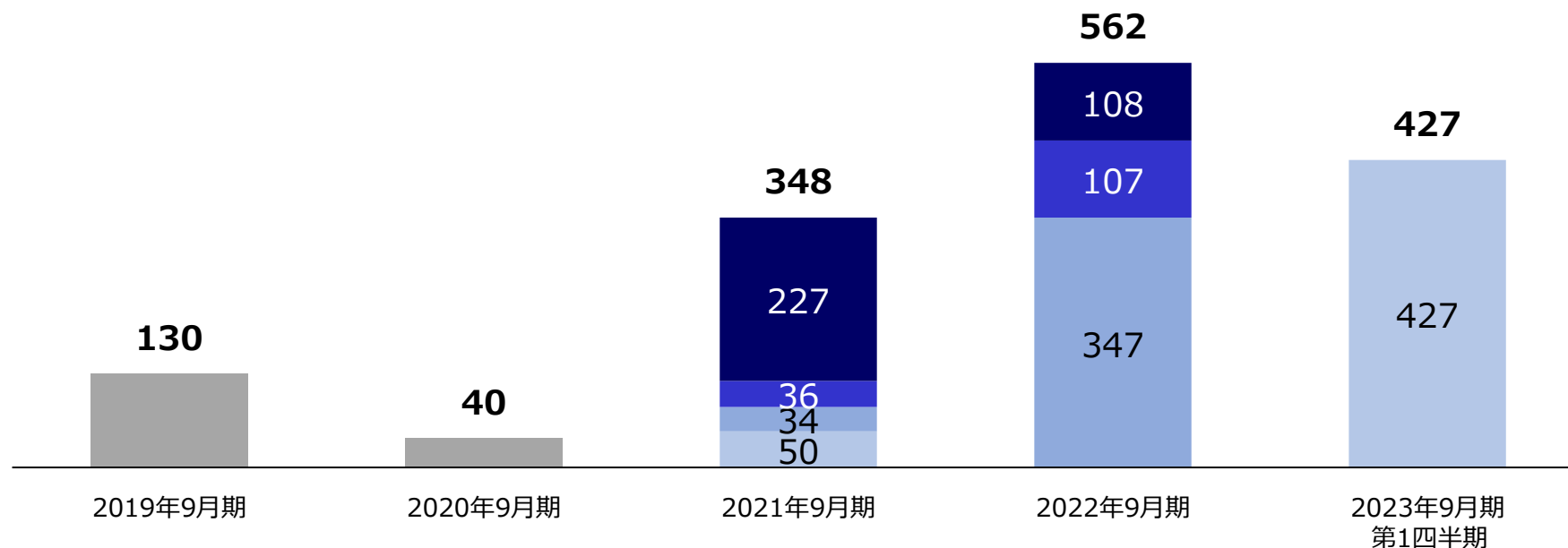


■ 半期ベースで過去最高となる組成額を達成

組成額の推移

(金額：億円)

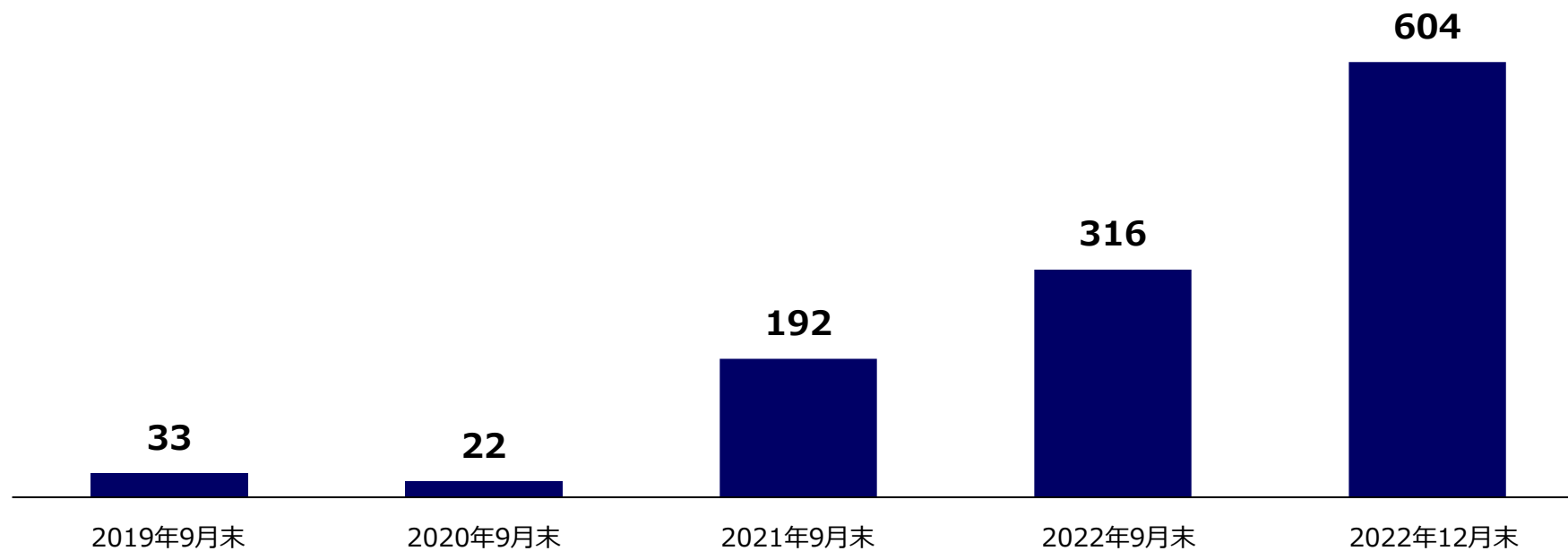
- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



- 国内不動産のさらなる拡大に向けて、旺盛な需要に見合う在庫を確保

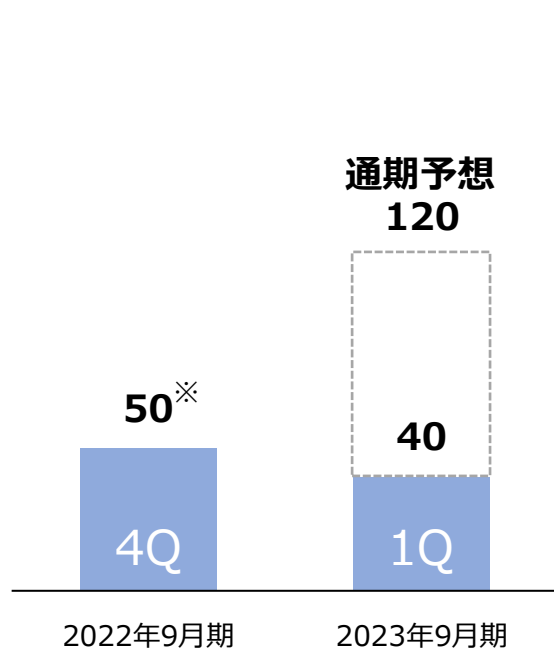
在庫の推移

(金額：億円)

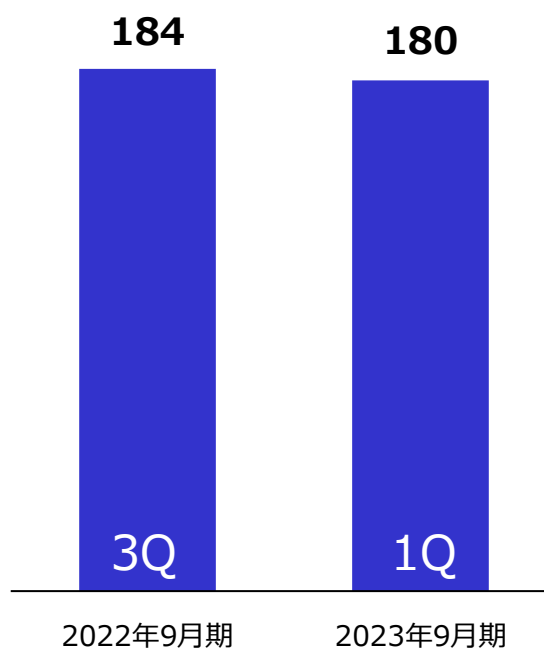


- 通期予想販売額120億円の達成に向けて、順調に進捗
- 2022年12月には第2号案件となる米国ハワイ州ホノルル市の大規模リゾートホテルを組成し、旺盛な需要に応える在庫を確保

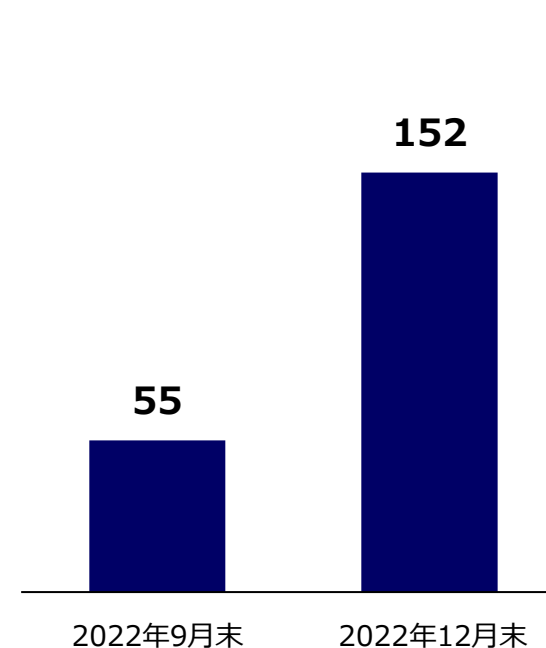
販売額の推移



組成額の推移



在庫の推移 (金額: 億円)



※ 海外不動産は2022年6月より販売を開始



2022年10月組成
過去最大の大規模案件

FPGリンクス渋谷道玄坂

最寄り駅：JR/東京メトロ/東急東横・田園都市線「渋谷」駅
土地面積：492.43m²
建物面積：3,773.22m²
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付8階建
用途：事務所・店舗
竣工：1982年5月



2022年12月組成
海外不動産 第2号案件

Queen Kapiolani Hotel (クイーン カピオラニ ホテル)

所在地：米国ハワイ州ホノルル市
客室数：315室
土地面積：36,334ft² (約3,375m²)
構造：鉄筋コンクリート造
用途：ホテル
竣工：1969年 (2017年～2019年大規模改修工事実施)

ご参考

(金額：億円)

	2022年9月期 第1四半期	2023年9月期 第1四半期	増減率	
売上高	156.7	174.1	+11.1%	
① 売上原価	105.9	81.8	▲22.7%	① 売上原価 不動産取得原価、リースファンド事業 案件組成コスト、顧客紹介者への 支払手数料等を含む
売上総利益	50.7	92.2	+81.8%	
販売費・一般管理費	16.7	21.3	+27.8%	
営業利益	34.0	70.9	+108.3%	
② 営業外収益	4.1	8.1	+93.9%	② 営業外収益 一時的に立替えた出資金を投資家 に販売する際に徴収する立替利息 (受取利息として計上)、金銭の信託 運用益等を含む
③ 営業外費用	2.6	8.5	+221.8%	
経常利益	35.5	70.4	+98.1%	
税引前四半期純利益	35.5	66.8	+88.3%	③ 営業外費用 資金調達に伴う支払利息等
法人税等合計	10.1	21.2	+109.5%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	25.1	45.6	+81.0%	

(金額：億円)

資産	2022年9月期	2023年9月期 第1四半期	増減
流動資産	1,527.3	1,937.1	+409.8
現金預金	131.1	151.3	+20.2
① 商品出資金	806.8	849.1	+42.3
② 金銭の信託（組成用航空機）	208.6	187.9	▲20.7
③ 組成用不動産	316.3	604.4	+288.1
固定資産	53.1	56.7	+3.6
資産合計	1,580.5	1,993.9	+413.4
負債・純資産	2022年9月期	2023年9月期 第1四半期	増減
流動負債	1,078.5	1,374.5	+296.0
短期借入金等	863.5	1,152.6	+289.1
④ 契約負債	129.3	143.5	+14.2
固定負債	140.3	255.0	+114.7
長期借入金等	134.8	249.8	+115.0
負債合計	1,218.9	1,629.5	+410.6
純資産合計	361.5	364.3	+2.8
負債純資産合計	1,580.5	1,993.9	+413.4

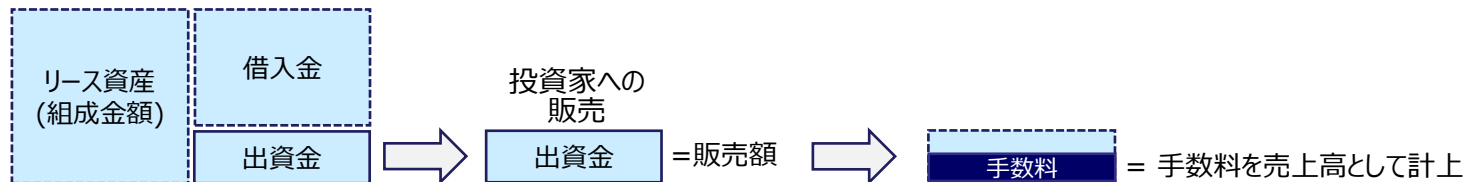
- ① 商品出資金
リースファンド事業および不動産ファンド事業（海外不動産投資商品）において投資家に販売するまで当社グループが一時的に立替えている出資金
- ② 金銭の信託（組成用航空機）
航空機リース案件に係る信託受益権の在庫
- ③ 組成用不動産
不動産ファンド事業（不動産小口化商品）における在庫

- ④ 契約負債
主にリースファンド事業および不動産ファンド事業（海外不動産投資商品）における手数料

- 本決算説明資料では、当社の事業を以下3つの事業区分に分けて説明しております。

1. リースファンド事業

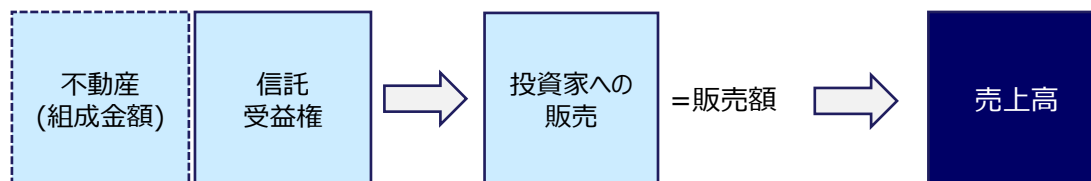
航空機・船舶・コンテナを対象とした、オペレーティング・リース事業（リースファンド事業）の組成・管理および投資家への匿名組合出資持分・任意組合出資持分・信託受益権の販売を行っています。売上高は、オペレーティング・リース事業の組成におけるアレンジメント・フィー、組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等を計上しています。なお、投資家への組合出資持分・信託受益権の販売額は売上高として計上していません。



2. 不動産ファンド事業

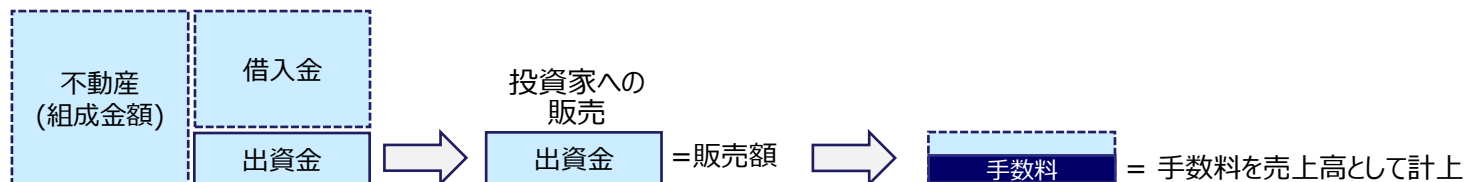
① 不動産小口化商品

株式会社FPG信託の信託機能を活用した不動産小口化商品の組成・管理および投資家への販売を行っており、投資家への販売額等を、売上高として計上しています。



② 海外不動産投資商品

海外不動産を対象とした集団投資事業案件の組成・管理および投資家への任意組合出資持分の販売を行っています。売上高は、集団投資事業案件の組成におけるアレンジメント・フィー、任意組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等が計上されます。なお、投資家への任意組合出資持分の販売額は売上高として計上されません。



3. その他事業

FinTech事業、保険事業、M&A事業、および航空事業等を総称して、「その他事業」としています。FinTech事業の売上高は、システム開発やネットワークインフラ構築に関わる業務受託料等を計上しています。保険事業やM&A事業は手数料、航空事業は輸送等の対価を、売上高として計上しています。

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。
実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

【お問い合わせ】

株式会社 F P G

担当部署：経営企画部

TEL: (03) 5288-5691 E-mail: ir@fpg.jp URL: <https://www.fpg.jp/ir/inquiry.html>